

連絡先

学長室: rectoroffice@vju.ac.vn

人事部: hr@vju.ac.vn

広報: communication@vju.ac.vn

寄付・スポンサー: sponsorforvju@vju.ac.vn

産学連携: collaboration@vju.ac.vn

アドミッション

🔍 日越大学

☎️ ホットライン: (+84) 966 954 736 | (+84) 969 638 426

✉️ Eメール: admission@vju.ac.vn

📍 (住所) Roomth509, 5th Floor, My Dinh Campus, Luu Huu Phuoc Road, My Dinh 1, Residential Area, Cau Dien Ward, Nam Tu Liem District, Hanoi, Vietnam



🌐 HP <http://vju.vnu.edu.vn/>
JICA HP <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/040/index.html>

📘 [facebook.com/VietnamJapanUniversity](https://www.facebook.com/VietnamJapanUniversity)



Delivering **EXCELLENCE** in Education & Research

Opening International **OPPORTUNITIES**

Striving for **SUSTAINABLE DEVELOPMENT**

CONTENTS

学長からのご挨拶	4
The University of Excellence, Opportunities and Sustainable Development	6
日越大学の概要	7
Delivering Excellence in Education and Research	9
学士課程プログラム	11
修士課程プログラム	12
環境工学プログラム (MEE)	13
社会基盤プログラム (MIE)	15
ナノテクノロジープログラム (MNT)	17
気候変動・開発プログラム (MCCD)	19
地域研究プログラム (MAS)	21
公共政策プログラム (MPP)	23
企業管理プログラム (MBA)	25
グローバル・リーダーシッププログラム (MGL)	27
日本語教育プログラム	29
学生からのメッセージ	31
卒業生の声	
就職支援	33
博士課程進学	35
研究	37
Opening International Opportunities	39
Global Vision	41
国際的な教育環境	43
日本企業とのマッチング	45
持続可能な開発に向けた取り組み	47
リベラルアーツ	49
サステナビリティサイエンス	50
主要な協力機関	51
産学連携	53
キャンパス	54



— 学長からのご挨拶 —

持続可能な開発の実現は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）で強調されているように、世界にとって喫緊の課題であり、ベトナムと日本両国にとっても重要なテーマです。日越大学（VJU）は、大学の基本理念として持続可能な開発を掲げることによって、新しい価値を世界に発信していきます。

VJUは、2035年までに、先端技術と学際科学を含むサステナビリティサイエンスの領域においてアジアで一流の研究大学になることを目指しています。また、持続可能な開発目標の達成に貢献する人材を幅広い分野で育成することが必要です。したがって、VJUのもう1つの重要な教育理念はリベラルアーツです。これは、クリティカルシンキングとクリエイティブシンキングといった21世紀に必要なスキルを持つ優秀な人材を育成するものです。

現在、VJUは公共政策、ナノテクノロジー、地域研究、社会基盤、環境工学、企業管理、気候変動・開発、グローバルリーダーシップという8つの修士課程があります。VJUはリベラルアーツを理念とする学部課程を設置することを予定しています。学部の教育プログラムは、サステナビリティサイエンスという大枠の元、様々な分野を網羅する文理横断的かつ学際的なプログラムになっています。

日越大学学長 古田元夫



The University of EXCELLENCE, OPPORTUNITIES AND SUSTAINABLE DEVELOPMENT

日越大学は「Center of Excellence（最高水準の教育・研究・人材育成の拠点）」を目指し設立されました。日越両政府、大学及び企業からの支援を受け、VJUは質の高い教育を実践し、「持続可能な未来のための知識」を修得するための機会を若い世代に提供します。



実践と理論の組み合わせ
社会基盤プログラムの教員と学生（ホーチミン市のメトロ1号線のトンネルにおいて）



日本、世界からの著名な教授陣による質の高い研究
研究室で環境工学プログラムの教員から指導を受ける学生

日越大学の概要

ミッション

- ベトナム、日本、東南アジアをはじめ、世界で活躍できる次世代のリーダー、マネージャーやエキスパートを目指す高度人材を育成します。
- 持続可能な開発のために、最新のテクノロジーと学際科学における研究成果を産み出し、ベトナムと日本間の知識移転を促進し、社会に貢献します。
- ベトナム国家大学ハノイ校 (VNU-HN) のミッションにコミットし、ベトナムの高等教育制度を改善します。
- ベトナムと日本の友好関係を促進します。

2030年に向けたビジョン

持続可能な発展のために日越両国の優位性を活用し、先端技術と学際科学の分野で、アジアにおいて主要な研究志向大学を目指します。



JICAからの支援により、日越間の友好関係の強化を目指し、日本でのインターンシッププログラムを実施しています。学生は日本企業や様々な分野の専門家と交流することができます。



2009年	ベトナム政府が、ハノイで開催された第1回日越学長会議の際にベトナムと日本の協力による大学設立を提案。	2014年	ベトナム国家大学ハノイ校総長が、日越大学の設立準備を担当する日越大学プロジェクト運営管理委員会の設置に関する決定書第2589/QD-VNU号(2014年7月30日)を発行。
2010年	日越両国政府が共同声明で、日本の大学を模範にした質の高い大学をベトナムに設立することを検討していることを発表。	2015年	ベトナム国家大学ハノイ校とJICAが、「日越大学修士課程設立プロジェクト」(2015年~2020年)の実施に関する協議合意書を締結。
2012年	日越友好議員連盟の強力な支援のもと、2012年に、独立行政法人 国際協力機構 (JICA)、ベトナム日本経済フォーラム及び、ベトナム国家大学ハノイ校が、日越大学プロジェクトの基礎情報収集調査を実施。	2016年	ベトナム国家大学ハノイ校とJICAが日越大学の6つの修士課程を紹介するセミナーを開催。
2013年	グエン・タン・ズン首相(当時)と安部晋三首相が、日越大学の設立準備を加速することに合意。	2016年 9月9日	ベトナム国家大学ハノイ校総長により、日越大学の初代学長に古田元夫を任命。
2014年	グエン・タン・ズン首相(当時)が、ベトナム国家大学ハノイ校のメンバー大学として、日越大学の設立に関する決定書第1186/QĐ-TT号(2014年7月21日)を公布。	2017年 9月	日越大学の開学式を開催。
		2018年 7月	6修士課程プログラムが教育を開始。
		2018年 9月	第1回学位記授与式を開催。
		2018年 9月	7修士課程プログラムが教育を開始。

VJU - ベトナム国家大学ハノイ校の7番目のメンバー大学

ベトナム国家大学ハノイ校は、ベトナムにおける近代的な大学としては最初の大学で、2つの国家大学のうちの1つとして発展しました。ベトナム国家大学ハノイ校はベトナムの工業化と近代化のため、優秀な人材と才能を育てることを求められています。



“日越大学は、ベトナム国家大学ハノイ校の7番目のメンバー大学として重要な役割を担っています。”

グエン・キム・ソン
ベトナム国家大学ハノイ校総長
日越大学理事長

VJUへの期待



“VJUは、ベトナムと日本の間の包括的な戦略的パートナーシップの象徴です。”

グエン・スアン・フック
ベトナム首相



“ベトナムと世界で活躍できる優秀な人材を養成するため、日越両国で協力して、日越大学のために新しいエネルギー源をつくりださなければなりません。”

武部 勤
日本ベトナム友好議員連盟特別顧問



“日越大学はベトナムと日本の架け橋です。”

安倍 晋三
内閣総理大臣



“日本企業は、単なる知的な才能よりも適応能力を求めています。”

越村 敏昭
東急グループ相談役 最高顧問

DELIVERING EXCELLENCE IN EDUCATION AND RESEARCH



日本の一流大学と連携することにより、VJUはユニークで総合的な研究教育プログラムを実践しています。日本のパートナー大学は、教育カリキュラムの設計だけでなく、学生への教育と研究活動にも協力しています。VJUの講師は、約50%が日本の大学から派遣される優秀な教授陣で構成されています。また、ベトナム国家大学ハノイ校や様々なベトナムの著名な大学が、日越大学の学生や教員と密接に協力しています。

ベトナムと日本の両政府、ベトナム国家大学ハノイ校及び日本の一流大学の強力な支援により、VJUは確固とした国際的レベルの教育環境を構築しました。VJUの学生や研究者は共に研究し、学び合うことができます。持続可能な発展のため、日越両国の競争力を大いに活かし、先端技術と学際科学分野でアジア屈指の研究大学になることが期待されています。

学士課程プログラム

日本学 学士課程プログラム (2020年開始予定)

VJUの日本学学士課程プログラムは、高度に学際的でリベラルな内容で、ベトナムで最も幅広い分野を包括したプログラムの1つで、日本語と日本文化だけでなく、日本の政治、経済及び法律も学習します。



先端技術 学士課程プログラム (2021年開始予定)

サステナビリティサイエンスに関する幅広い視点と、環境工学、ナノテクノロジー、社会基盤、エネルギー工学等の特定の先端技術分野における専門知識を備えた人材を育成することを目指しています。



修士課程プログラム

環境工学 プログラム (MEE)

東京大学と立命館大学が連携し、実習や日本でのインターンシップ、魅力的な講義を提供しています。学生は日本で発展した環境工学の技術と応用に関する知識を修得します。

社会基盤 プログラム (MIE)

東京大学をはじめとする複数の日本の大学と連携しながら、最先端技術に関する講義や日本でのインターンシップ、現場見学などの機会を提供しています。学生は日本にとどまらずアジア各国で活用されている社会基盤の技術やその応用について知識を習得します。

ナノテクノロジー プログラム (MNT)

大阪大学のプログラムに基づき、ベトナムの状況に合わせて一部修正され提供されています。本プログラムは学生がナノサイズの世界に関連する問題を理解できるように、理論的知識と実践的なスキルを組み合わせ、専門知識を深め、幅広い知識を教えます。ナノサイエンス分野で先端技術を習得する機会を提供します。

気候変動・開発 プログラム (MCCD)

本プログラムは、持続可能な開発の専門知識を必要とする高度な業務遂行ができる人材を育成することを目指しています。修了後、学生は大災害への対応策を立て、自然を分析し、気候変動とその影響、脆弱性、適応策、緩和策を予測し、自然と調和したレジリエントな低炭素経済と社会を展望することができます。

地域研究 プログラム (MAS)

本プログラムはベトナム研究と日本研究を含みます。研究機関で働いたり、日本とベトナムに関連した実践的な活動に参加したりするための総合的で最新の専門知識を提供します。

公共政策 プログラム (MPP)

日本とベトナムの教授や経験豊富な講師の指導のもと、公共政策の分析、評価、計画・管理のための理論的・実践的知識、現代的な方法論、高度なツールとスキルの基礎知識を学生に提供します。

企業管理 プログラム (MBA)

横浜国立大学と連携しているプログラムで、学生は2年目に日本企業などで3ヶ月間のインターンシッププログラムに参加し、日本の市場、ビジネス、社会について学びます。

グローバルリーダーシップ プログラム (MGL)

現代のグローバル社会で発生するさまざまな問題を解決するため、地域の歴史的及び文化的理解とさまざまな分野の分析スキルが必要です。MGLは政治・安全保障、経済及び国際関係論という3つの社会科学の側面において、グローバルリーダーシップに関する教育を含む学際的なプログラムを提供する世界で数少ない教育プログラムの一つです。

環境工学プログラム (MEE)

目標：環境工学プログラムは、日本（東京大学・立命館大学）とベトナム両国のトップ大学によって共同運営され、主に環境工学に関わる高度な知見と応用力（環境監視、評価、制御、管理および予測に関する知識と実務的なスキル）を養成することを目的としています。プログラムが提供する理工学の基礎的な学びに加え、ユニークで能動的なトレーニング、あるいは企業・行政研究機関等でのインターンシップに参加することにより、卒業生は環境工学に関わる専門家として、国内外で幅広く活躍していくことが期待されます。

Coordinating University



取得学位：環境工学修士号

卒業後の進路・就職先：

- 大学院博士課程への進学／高等教育機関における教育研究職
- 国家機関や地方自治体の行政職
- 日系企業、グローバル企業の技術職
- 日本をはじめとした外国の大学への進学（1期生の50%以上はPhDへ進学）

プログラムの特徴：

- 日本とベトナムのトップ大学が共同で提供する質の高い教育カリキュラム
- 日本とベトナムの著名な教授により提供される最先端の洗練された授業
- 豊富な共同研究の機会
- 研究に必要な最先端の分析機器や充実した教育環境
- プログラムと学生との関係性重視
- 優秀な学生のための全部または部分的な授業料免除
- 日本でのインターンシッププログラムへの参加サポート
- 日本の大学とのパートナーシップ
- 将来の高い競争力



プログラムからのメッセージ：



カオ・テー・ハー准教授（博士）
プログラムディレクター

“このプログラムでは、実験室での実践、論文の投稿、そして日本とベトナムの大学、研究機関、企業でのフィールドワークを通じて、皆さんのスキルを強化することができます。”



中島 淳 教授（博士）
（立命館大学）
共同ディレクター

“私たちのプログラムでは、日本における実習、インターンシップ、研究などを含む魅力的な講義や演習を準備して、みなさんを待っています。”



福士 謙介 教授（博士）
共同ディレクター

“私たちのプログラムに参加し、持続可能な開発目標と将来の持続可能な社会の確立に貢献しましょう。”



More information
in MEE Activities



社会基盤プログラム (MIE)

目標：社会インフラや交通システムの計画・設計・運営・施工・維持管理・プロジェクトマネジメント等に関する高度な知識及びスキルを修得します。学生は、講義での学習に加え、現場見学、インターンシップおよび研究を通じて、アジア諸国で発生している国土、地域、都市の社会基盤にかかわる現代的な問題の解決に資する専門知識と高度で幅広い技術を応用できる能力を身につけます。

Coordinating University



取得学位：社会基盤工学修士号

卒業後の就職先：

政府機関、大学や研究機関での管理職、専門家、教員、研究員；プロジェクト、企業、NGO等でのプロジェクトマネージャー、品質管理者、主任技師等。

プログラムの特徴：

- 東京大学の教育プログラムをもとにしたカリキュラムの開発。社会基盤分野において日本企業が求める実務的技術とベトナム及び日本を含めた世界各国の先端的知識とを統合。
- 高度に学際的なプログラムの構築。社会基盤分野の知識や専門的なスキルに加えて、サステナビリティサイエンスの視点も修得し、幅広い学びを学生に提供。
- 学生中心の指導方法の採用。これにより、学生が自分の能力を最大限に発揮し、自ら研究方針を決定できる能力を涵養。
- 学んだ知識を現場で応用することを念頭に置いた実践的教育の実施。教室での授業を通して学ぶ理論と現場での実践とを有機的に融合。
- 日本からの講師が全講師の50%以上占めている国際的な学習環境の実現。最新の施設を整備。学生は著名な教授とともにプロジェクトに参加できる可能性。
- 日本における3ヶ月のインターンシップ生に選ばれた学生には、費用全額の支援。
- 日本文化をはじめ、多文化の文脈で先端的な知識及びスキルを修得可能。
- 卒業後は、就職活動で優位に立つことが可能。日本、ベトナム及び世界の一流企業における就業の機会を多数提供。
- 卒業生は日本や世界中の一流大学における博士課程への進学が可能。

プログラムからのメッセージ：



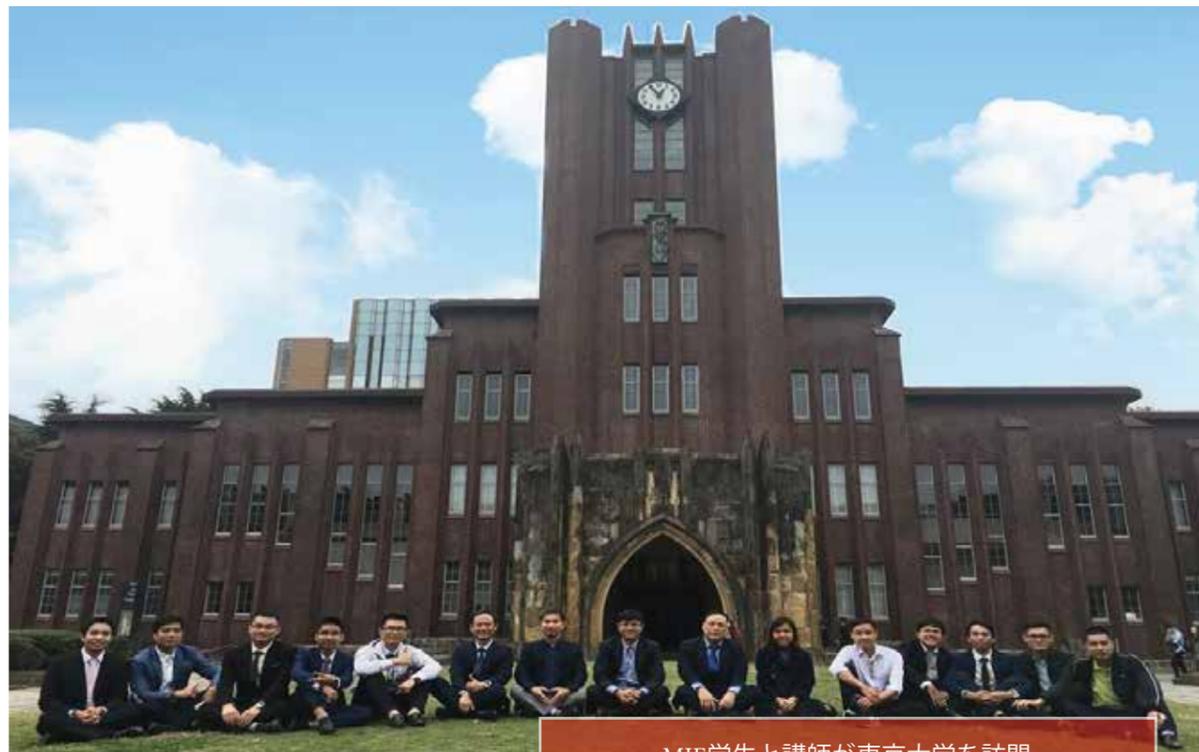
グエン・ディン・ドゥック教授 (博士)
プログラムディレクター

“ 私達のプログラムには、日本や世界の最新の知識と最先端の技術が組み込まれています。日本で開発されてきたインフラの設計・施工、計画・管理・メンテナンス、そして先端材料の分野に焦点を当てています。”



加藤 浩徳 教授 (博士)
(東京大学)
共同ディレクター

“ 我々は、学生が個々の潜在能力を十分に発揮するための環境をつくり出すために最善を尽くしています。”



MIE学生と講師が東京大学を訪問



ホーチミン市のメトロ1号線のトンネルでのMIE学生

ナノテクノロジープログラム (MNT)

目標：MNTは、先端科学とナノテクノロジーに関する知識とスキルを学生に提供します。学生は物理学、化学、生物学、薬学、環境、エネルギー等の分野におけるナノスケールマテリアルの研究を行うことができます。更に、学生は、ナノテクノロジーに関する問題の発見・解決に必要なとされる学際的知識を習得し、国家レベルの発展目標の達成に貢献できます。

Coordinating University



取得学位：ナノテクノロジー修士号

卒業後の就職先：

外資系テクノロジー企業、ハイテク企業等での管理職・技術者；科学技術研究センター、研究機関、大学及び国家管理機関等での管理職・研究員・教員

プログラムの特徴：

- 学生中心のトレーニング方法により、学生は自身の能力を最大限に発揮し、自ら研究方針を選択する。
- 実用性の高い知識を教え、あらゆる実践に応用することが可能。教室や研究室での講義を通じた理論と実践を組み合わせた内容。
- 全講師の50%以上が日本からの講師で、国際的な学習環境があり、最新の施設及び実験室を整備。
- 著名な教授による指導のもと、物理学・化学・生物学・薬学・環境・エネルギー等の様々な分野で、ナノスケールの現象を研究するプロジェクトや、最先端の研究プロジェクト等に参加する機会がある。
- 全学生の50%が、最長3ヶ月の日本でのインターンシップの費用を全額支援される。
- 日本文化をはじめ、多文化における最新の知識やスキルを修得できる。
- 卒業後は、就職活動で優位に立つことができ、日本、ベトナム及び世界の一流企業での就業機会が多い。
- 卒業生は日本と世界中の一流大学における博士課程への進学が可能。

プログラムからのメッセージ：



ゲン・ホアン・ルオン教授 (博士)
プログラムディレクター

“ ナノテクノロジーは世界を変える分野です。VJUのナノテクノロジー修士課程プログラムは、将来の国の成長のため、ベトナムの産業界と学術界を発展させることを期待される人材の育成を目指しています。”



渋谷 陽二 教授 (博士)
(大阪大学)
共同ディレクター

“ 本プログラムは、量子準位からナノレベルの視点を持つことを重視し、深い思考と複雑な問題の解決を通してハイテク分野における持続的な発展に貢献します。”



MNT学生によるプレゼンテーション



日本でのインターンシップの様子 (MNT第2期生)

気候変動・開発プログラム (MCCD)

目標：国の発展とともに生じる気候変動に関する本質、進化、影響、脆弱性、対応策・緩和策等の学際的な基礎知識を学生に提供します。また、学生は、気候変動・開発の問題の特定、分析、評価、予測の能力とスキルを向上することができます。更に、持続可能な開発のために気候変動への対応策・緩和策を提案・計画する能力も修得します。

取得学位：気候変動・開発修士号

卒業後の就職先：気候変動分野での起業；企業、自然保護地、生物保存地域、観光地等における科学技術及び気候変動管理の専門家；政策立案者のための管理職；管理機関における政策アドバイザー；社会・政治組織・国際機関・非政府組織における気候変動への対応と開発に関するコンサルタント；研究機関や教育機関における職員・研究員。

プログラムの特徴：

- ・茨城大学のカリキュラムに基づき、ベトナムの状況に合わせた質の高いプログラム。
- ・国際的な学習環境で高度な教授法及び最新の研究室を完備。
- ・学生は、世界で最も気候変動による影響を受けやすい国の1つであり、気候変動への対応で先駆的なベトナムにおける実践的な知識を修得。
- ・日本における気候変動の知識もカバーした世界の最先端技術を修得し、実践することができる。
- ・ベトナムにおける気候変動ビジネスに関する著名な教授、科学者、優れた管理者からの直接指導。
- ・プログラムの全教員の50%以上が日本人教員。
- ・授業料が大幅に補助され、特に優れた学生には成績に基づき全額支給奨学金を付与。
- ・日本語と日本文化をはじめ、多文化の環境における先進的な知識とスキルを修得。
- ・日本企業で働く機会や提携する日本の大学で博士課程への進学機会がある。

Coordinating University



MCCDクラスの実習

プログラムからのメッセージ：



マイ・チョン・ニュアン教授 (博士)
プログラムディレクター

“VJUのMCCDは、先進技術、国境を越えた最新の知識、ベトナム（気候変動の影響を様々な場面で観察できる巨大な実験場）と日本で実践する多様な経験等の修得をベースに、学生が安全かつ持続可能な発展に向けて、気候変動分野でのキャリアを伸ばせるような学習環境をつくっています。”



北 和之 教授 (博士)
(茨城大学)
共同ディレクター

“MCCDは、魅力的な講義や実地調査、インターンシップや日本での講義などの実習を通して、個々の問題を発見し解決することにより、気候変動に関する基礎から最先端の知識、気候変動の影響を理解するための方法論、引き起こされる課題に挑戦する能力等を身につけることができます。”



気候変動緩和策についての議論

地域研究プログラム (MAS)

目標：地域研究（日本研究（「日本語教育」というTJFLコースを含む）・ベトナム研究）における広範かつ高度な教育を提供します。学生は、他の地域との関連で研究対象地域のアイデンティティや特徴を理解するために学際的な研究手法を活用し、研究対象地域の持続可能な開発に係る問題に対する解決策を提案する事が出来ます。

Coordinating University



取得学位：地域研究修士号（日本研究・ベトナム研究）

卒業後の就職先：

大学や研究機関での教員・研究員・管理職；貿易会社、サービス業、日系企業を含む外資系企業非営利組織等における職員

プログラムの特徴：

- 東京大学のカリキュラムに基づき、ベトナムの状況に合わせて調整された質の高いプログラム。
- 全講師の50%以上が日本からの講師。国際的な学習環境。学生は著名な教授による指導のもと、プロジェクトに参加する機会があり、最新の設備を整備。
- 多くの学生は授業料が補助され、特に優れた学生には、成績に基づき全額支給の奨学金を付与。
- 全学生を対象に、1ヶ月間（ベトナム研究の場合）又は3ヶ月間（日本研究の場合）のインターンシップ費用を補助。
- 日本文化をはじめ、多文化環境における先端的な知識及びスキルを修得。
- 修了後、ベトナムや日本の企業、国際機関等での就職活動で優位。



株式会社吉野家ホールディングスへの訪問

プログラムからのメッセージ：



ヴー・ミン・ザン教授（博士）
プログラムディレクター

“地域研究修士課程プログラム（ベトナム研究と日本研究を含む）は、研究環境で仕事をするために必要な、日本とベトナムに関連した実地活動や総合的で専門的な知識を身につけることができます。”



岩月 純一 教授
(東京大学)
共同ディレクター

“ベトナムか日本かに関わらず、キャリアアップするためには、実践的な知識を習得するだけでなく、その知識を社会に広めることが不可欠です。本プログラムが提供する知識が、日越両国の発展に貢献することと思います。世界中から士気の高い学生を歓迎しています。”



グエン・クアン・ジエウさん
(MASプログラム第2期生) による発表

公共政策プログラム (MPP)

目標：VJUの公共政策修士課程プログラムは、公共政策の複雑さと課題、及びその策定・実施・評価に関する深い知識と理解を得られるように設計されています。また、本プログラムでは、学生が優秀な管理者、リーダー政策策定者、政策実施者になるために必要な一連の分析ツールと必要不可欠なスキルを学生に提供します。これにより、学生が持続可能なビジョンを持つだけでなく、問題を発見・解決する能力、およびビジョンの達成におけるリーダーシップを持つことができます。

Coordinating University



学位：経済学修士号 (公共政策専攻)

卒業後の就職先：

- 公共政策の計画・実施分野の分析者、コンサルタント、実施及び評価
- 研究機関、国内外の大学の研究員、教員
- 国際機関又は非政府組織のコンサルタント、コーディネーター
- 国内・国外の教育機関における博士課程への進学

プログラムの特徴：

- 筑波大学のカリキュラムに基づき、ベトナムの状況に合わせて調整された質の高いプログラム。
- 全講師の50%以上が日本からの講師で国際的な学習環境で、学生は著名な教授による指導の下での研究の機会がある。最新の設備が整備されている。
- 授業料を大幅に補助し、特に優れた学生には成績に基づき全額支給の奨学金を付与。
- 全学生の50%を対象に、日本での3ヶ月間インターンシップの費用を全額補助する。
- 日本文化をはじめ、多文化環境における先端的な知識及びスキルを修得できる。
- 修了後、ベトナム、日本及び国際組織での就職活動に優位。



MPPのセミナー

プログラムからのメッセージ：



ゲン・トゥイ・アイン博士
プログラムディレクター

“筑波大学のカリキュラムに基づき、ベトナムの状況やニーズに合わせて改変された国際水準のプログラムです。”



川島 宏一 教授 (博士)
(筑波大学)
共同ディレクター

“MPPは持続可能な発展に向けた枠組みを構築する目的で、理論と実践を効果的に融合した2年間のプログラムです。”



東京でのインターンシッププログラム期間中のMPP学生

企業管理プログラム (MBA)

目標：グローバルな環境におけるビジネス管理に関する説得力のあるビジョンと深い知識をもち、第4次産業革命・グローバル化・持続可能な開発の時代に、ビジネス活動を組織・運営する能力を備えた起業家やビジネスリーダーを目指す学生を育成します。

取得学位：企業管理修士号

卒業後の就職先：

起業家・事業主、民間企業・多国籍企業における管理職、政府機関・国際機関における職員、大学・研究機関における教員・研究員

プログラムの特徴：

- 横浜国立大学のカリキュラムに基づき、ベトナムの状況に合わせて調整された質の高いプログラム。
- 全講師の50%以上が日本からの講師で国際的な学習環境、最新の設備が整備されており、学生は著名な教授による指導のもと、様々なプロジェクトに参加する機会がある。
- 授業料を大幅に補助。特に優れた学生には成績に基づき全額支給奨学金を付与。
- 選抜された学生を対象に、日本でのインターンシップの費用を全費用補助。
- 日本文化をはじめ、多文化の環境における先端的な知識及びスキルを修得。
- 卒業後、ベトナム、日本及び国際組織への就職活動に優位。

Coordinating University



プログラムからのメッセージ：



ファム・ティ・リエン准教授 (博士)
プログラムディレクター

“学生は総合的なコースワークとインターンシップに基づき、VJUの教授による重要かつ創造的な研究活動を行うことが期待されています。”



松井 美樹 教授 (博士)
(横浜国立大学)
共同ディレクター

“VJUのMBAプログラムは、積極的かつクリエイティブにビジネスと経営を研究するため、視野を広げられるような機会を学生に提供します。”



日本でのインターンシッププログラム



ハイフォン市の計画投資局での実地見学

グローバル・リーダーシッププログラム (MGL)

目標：現代世界を象徴する急速なグローバル化の中で、ベトナム、ASEANをはじめとするアジア太平洋地域の存在は、国際的な政治、経済、社会、文化において、これまで以上に重要になってきています。グローバル・リーダーシップ修士課程プログラム (MGL) の使命は、次の2つを基本的な考えとしています。

Coordinating University



- 1) アジア太平洋地域諸国間で発生した歴史、政治、経済、経営管理、工業、社会、文化に関する諸問題への取り組みにおいて、世界的及び地域的観点のバランスをとる学術研究を追求。
- 2) 国連のグローバルガバナンス、及び東南アジア、東アジア (ASEAN + 3)、アジア太平洋地域におけるASEAN中心の地域ガバナンスにおいて広く貢献できる未来の指導者の育成。
現代のグローバル社会から発生した様々な問題を解決するには、地域の歴史的・文化的理解だけでなく、国際関係、政治、国際開発の分野からの分析スキルも必要です。そのような要求を満たすために、MGLでは、政治・安全保障、経済及び国際研究という3つの社会科学的側面を持つ大学院レベルのグローバルリーダーシップの教育を学生に提供する、世界で数少ない学際的教育プログラムの1つです。

取得学位：グローバル・リーダーシップ修士号

卒業後の就職先：

- 地域・国際機関、中央・地方レベルの国家機関及び非政府組織 (NGO) における指導者、管理職
- 国際機関、国家機関、省庁等における職員、コンサルタント、政策分析官、アドバイザー
- 指導者、政治学・安全保障、公共政策と開発、国際関係、国際経済とビジネス等の専攻を持つ学術機関や大学における専門家、教員
- ベトナム、日本、又はその他の国における大学での指導者、政治学やグローバルスタディに関する博士課程への進学。

プログラムの特徴：

- 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 (GSAPS) のカリキュラムに基づき、ベトナム及び東南アジアのコンテキストに合わせた質の高いプログラム。
- 全講師の50%以上が日本からの講師で、国際的な学習環境。学生は著名な教授による指導のもと、様々なプロジェクトに参加する機会がある。
- 授業料が大幅に補助され、特に優れた学生へは成績に基づき全額支給の奨学金を付与。
- ベトナム人学生の全部又は一部を対象に、東京のGSAPSにおける1学期間の研究・インターシップの機会。
- 日本文化をはじめ、多文化における最新の知識及びスキルを修得。
- 修了後、ベトナム・日本における公的機関、企業、及び国際組織等での就職活動に優位。



プログラムディレクターであるファム・ホン・トゥン教授による説明会



プログラムの幹事大学である早稲田大学について紹介をする勝間靖教授(プログラム共同ディレクター)

プログラムからのメッセージ：



ファム・ホン・トゥン教授 (博士)
プログラムディレクター

“MGLは、ベトナムで最初のリーダーシッププログラムであり、リーダーシップ学の科学的理解、実践的スキル、グローバルな考え方・ビジョンおよび異文化における対話能力を修得する機会を学生に提供します。本プログラムを通して、グローバル化する世界の問題への取り組み方に変化を与えることができると信じています。”



勝間靖 教授 (博士)
(早稲田大学)
共同ディレクター

“MGLの目的は、世界的・地域的な問題の解決に貢献したり、国際的な環境で多様な背景を持った人々と協力したりできるリーダーになるための必要な考え方とスキルを養うことです。”



日本語教育プログラム

目標：VJUの全ての修士課程プログラムにおいて、日本語は必修科目であり、授業は1～2学期と夏学期に行われます。日本語教育プログラムは、日本語学習コースの設計、実施を行っています。また、本プログラムは学生に対し、正規の授業の他に補習や日本人学生との交流、日本語カフェの開催等、様々な学外活動を提供し、日本語や日本文化についての理解をより深め、修士課程の2年目に実施される日本でのインターンシッププログラムの土台作りを支援します。

Coordinating University



WASEDA University
早稲田大学

パートナー：VJUの日本語教育プログラムは、日本で最も権威のある私立大学の一つである早稲田大学と共同で実施されています。

期待される学習効果：

- 簡単な文章構造を使い、日常会話を行うことができる（初級）
- 高度なアカデミックな日本語を学び、日本語で修士論文を書くことができる（上級）
- 異文化体験の観点から、他の社会経験におけるマナーや慣習の類似点と相違点を理解することができる。
- 異文化間コミュニケーションにおける、文脈的かつ文化的意識を高めることができる。
- 異文化間コミュニケーションにおいて、外国の文化的価値について敏感になり、認識することができる。
- オンライン学習ツールを効果的に使用することで自律学習能力を高めることができる。

プログラムからのメッセージ：



宮崎 里司 教授 (Ph.D.)
(早稲田大学)
プログラムディレクター

“ VJUでは、日本語教育は英語教育と共に必修科目です。2016年のVJU設立以来、高い評価を得ています。本プログラムは、世界中の日本語話者との交流を支援するために、サステナビリティサイエンスの一部としての日本語を提供することを目的としています。”



日本文化イベント - 折り紙



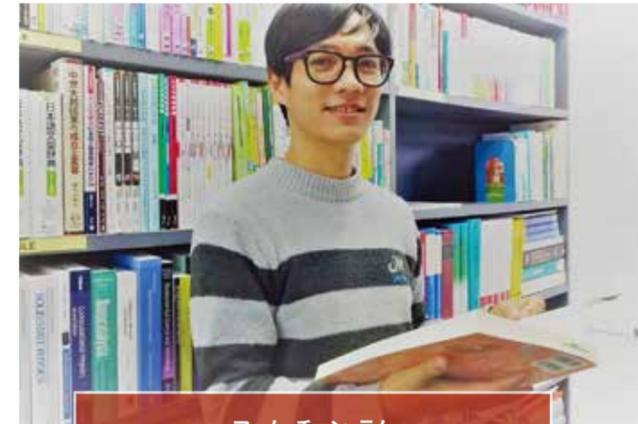
日本語教育プログラム (JLE) の授業の様子

学生からのメッセージ



トー・ホアン・グエン
環境工学修士課程プログラム (MEE) 第2期生

“VJUでは、優れた学術的知識を学べるだけでなく、環境工学についての研究技術を実践する機会もありました。ベトナムと日本の一流大学の協力により、ベトナムで発生する新しい環境問題と持続可能性に関する日本のグローバルイニシアチブを組み合わせた、包括的なプログラムを学ぶことができました。この「グローバルに考えて、ローカルに行動する」という考え方は、グローバルなキャリアを歩むうえで、重要な基盤となるのは間違いなく、ベトナムの持続的な発展についての認識をもつのにも役立ちます。さらに、日本でのインターンシップを通して、日本社会とそのビジネスマナーについてより深く理解することができました。”



ファム・チョン・ラム
ナノテクノロジー修士課程プログラム (MNT) 第2期生

“私は計算化学と物質シミュレーションの分野で研究をおこなってきました。日本企業の研究開発部門で研究者として働きたいと思っています。VJUには、私の研究スキルと知識を磨くために必要な、高品質な学術的環境が整備されています。VJUに入学したことで、私は自分の専攻分野が多くの日本企業で求められていることを知ることができました。”

“日越大学は、企業と協力活動を積極的に推進しています。大学ではキャリア教育に関するワークショップやセミナーが多数開催され、これにより学生は様々な企業と直接意見交換をすることができます。これらのセミナーのおかげで、学生は、企業が何を求めているのかを知ることができ、就職の機会も見つけることができます。”



ドー・ティ・トゥ・ハー
社会基盤修士課程プログラム (MIE) 第3期生

“私は地球温暖化問題に興味を持ち、気候変動・開発プログラム (MCCD) を履修しました。これは国際情勢の中で最も深刻な問題の一つです。私は、気候変動・開発プログラムで学ぶことで、地球温暖化の緩和に貢献するために必要な知識を身に付けたいと思っています。VJUには、様々なバックグラウンドを持つ、異なる意見を持った講師がいます。彼らは気候変動の問題について国際的な考え方を私たちに教えてくれます。さらに、VJUには現在の気候変動の問題を学ぶために、専門的な機器が整備され、様々な活動が用意されています。これらを楽しむことは、VJUの学生にとって特権だと思います。”



Azu Anthony Anwani (ナイジェリア人)
気候変動・開発修士課程プログラム (MCCD) 第3期生

VJUはグローバル社会で価値の高いエンジニアを育成します。

“卒業から2ヵ月後、私は渡日し、橋梁の設計・検査・メンテナンス・建設の分野で有名な会社である株式会社ジュントス（福岡市）で設計エンジニアとして働き始めました。私の目標は高度な技術を持つ国際的なエンジニアになることです。VJUは私がグローバルな社会においてクオリティーの高いエンジニアになるために必要な知識を与えてくれました。第一に、重要なのは外国語でコミュニケーションができることです。



*ゲン・シー・クオン
社会基盤修士課程プログラム (MIE) 第1期生

VJUのすべてのコースは英語で行われるため、私は英語のレベルを大幅に向上させることができました。また、日本語の授業は日本で働くことを希望する学生にとって非常に役に立ちます。第二に就活活動において、私が候補者よりも優位に立てたのは、VJUの学生が日々、総合的なプログラムの中で、多様な知識を得たからだと思います。最後に、適応力についても言及しなければなりません。世界がIoT、AI、3Dプリンティング技術等、急速に変化している状況において、私は、VJUで適応力を身につけたおかげで、職場環境のミクロ的な変化だけでなく、マクロ的な変化にも素早く対応できるようになりました。VJUで貴重な学びを得て、私はもっと先に進むことができ、より多くの成功を得られると強く信じるようになりました。”

世界各地の政策づくりの実態を知り、体験する機会があります。

“現在、アジア30か国以上に支店がある公共政策コンサルティング会社であるBower Group Asia（本社：米国ワシントンDC）で、公共政策研究員・アナリストとして働いています。私の会社は、外国企業が公平かつ効率的な法的枠組みの下で活動できるように、外国企業にコンサルティングを提供しています。現地の投資環境の自由化、またベトナムの経済成長の発展に資する政策の改定に貢献できていると感じており、自身の会社での役割に満足しています。国際的な大手企業と協力することにより、政府と企業の関係において自分のスキルとプロ意識を磨く機会を得ることができています。

VJUの公共政策修士課程で、2年間学ぶことができたことを感謝しています。私はVJUのスタッフから力強いサポートを受け、様々な先生から貴重な教訓を学びました。日本、アメリカ、中国、アフリカなど様々なバックグラウンドを持つ講師のグローバルな経験を知ることで、私達は世界各地の政策策定の実態を知ることができ、実体験することができました。特に、日本の茨城県でのインターンシップでは、全国でも有数の、洗練されかつクリエイティブな政策プロセスの実施に敬慕の念を抱きました。私はVJUで学んだことの多くを今の仕事に取り入れています。言葉にすることが難しい学びも多くありますが、VJUの学生達は日本の良いところを取り入れて前に進んでいくと確信しています。”



*ゲン・ヴァン・アイン
公共政策修士課程プログラム (MPP) 第1期生

* Interviewed in 2018

VJU第1期卒業生の就職状況調査報告書（2019年3月）

進路状況

就職	43名	71.7%
進学（博士課程）	10名	16.7%
その他	7名	11.6%
合計	60名	

うち8名が日本

就職内訳（地域別）

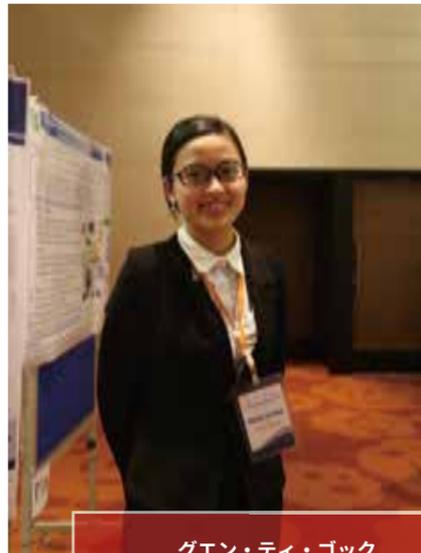
ベトナム国内企業・組織	27名	62.8%
日本国内企業	4名	9.3%
在ベトナム日系企業	8名	18.6%
その他外国の企業・組織	4名	9.3%

就職内訳（産業別）

教育	19名	44.1%
製造業	6名	14.0%
サービス業	5名	11.5%
建設業	4名	9.3%
情報通信業	2名	4.7%
運輸業	2名	4.7%
金融業	2名	4.7%
その他	3名	7.0%

卒業生の声：博士課程進学

いつかVJUに戻り、日本で学んだ知識をベトナムの学生に伝え、ベトナムの学术界に還元したいです。



グエン・ティ・ゴック
環境工学課程プログラム (MEE) 第1期生
京都大学 文部科学省博士課程奨学生

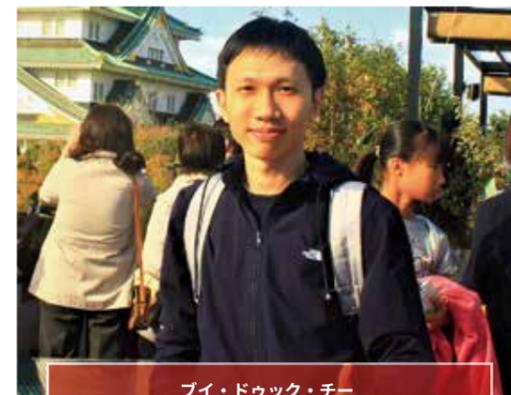
“日越大学を卒業した後、京都大学で博士課程の学生として勉強しています。私は最先端の技術、最新の設備を備えたプロフェッショナルな環境で研究をすすめています。こちらでは、私の研究目標や自身のゴールを達成するために、生活や学習に必要なすべてのリソースを与えられています。VJUが、この素晴らしい機会への扉を開いてくれました。VJUは私の目標がより高く、そしてより遠くに設定できるように、最も適した環境や翼を与えてくれました。VJUの講師は科学に対して情熱的で、専門知識を学生と共有し、常に学生をサポートしてくれます。京都大学で学位が取得できたら日本で学んだことを母国ベトナムでの研究に応用し、そしていつか自分の得た知識をベトナム人の若い学生に伝えるためVJUで働きたいと思っています。”

VJU - 潜在的な研究者を育成する大学

“VJUは、日本の教育を体験できるような国際水準の学習環境を提供しています。VJUでの2年間は、学術知識と研究スキルを向上させるための多くの機会がありました。私は、様々な専門知識を持った教授陣から多くのことを学びました。そして、プログラム期間中、様々な学外活動を通じて、ソフトスキルも向上させることができました。特に日本での4ヶ月間のインターンシップと、素晴らしい実地視察は私の考え方や視野を広げてくれ、本当に忘れられない思い出になりました。これらの活動はテクノロジー、働き方、そして文化の多様性と豊かさという点で、日本がどれほど素晴らしい国なのかを教えてくださいました。”



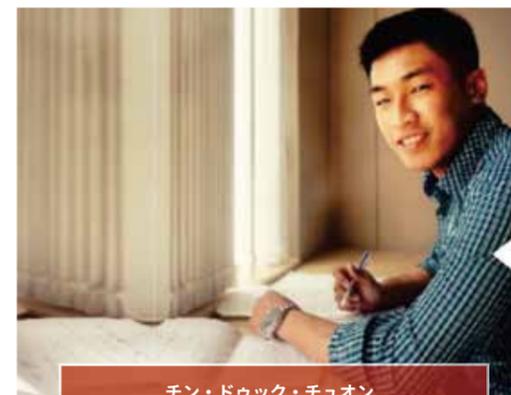
グエン・アイン・ハオ
経営学修士課程プログラム (MBA) 第1期生
横浜国立大学 文部科学省博士課程奨学生



ブイ・ドゥック・チー
ナノテクノロジー修士課程プログラム (MNT) 第1期生
筑波大学 文部科学省博士課程奨学生



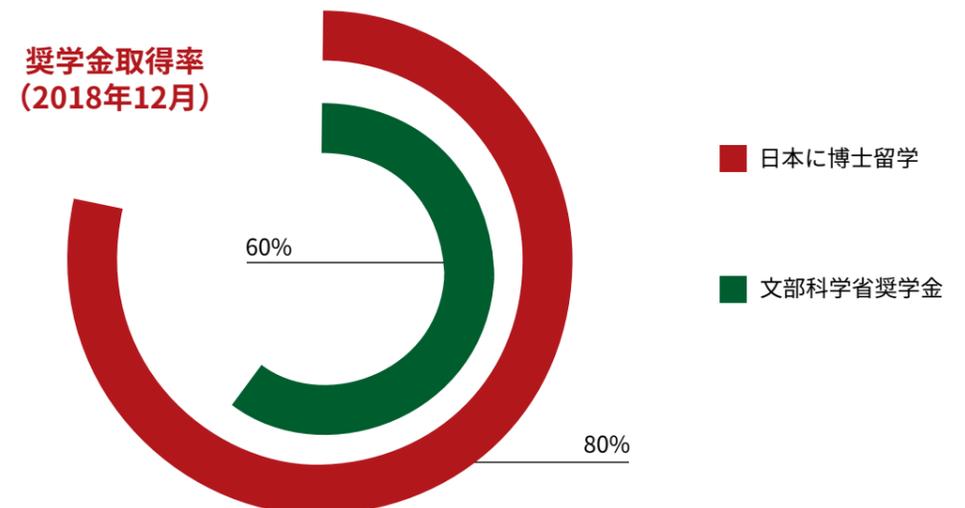
ルオン・ヒュー・ドゥック
ナノテクノロジー修士課程プログラム (MNT) 第1期生
大阪大学 文部科学省博士課程奨学生



チン・ドゥック・チュオン
社会基盤修士課程プログラム (MIE) 第1期生
広島大学 文部科学省博士課程奨学生



グエン・ティ・フエン・チャン
地域研究修士課程プログラム (MAS) 第1期生
神戸大学 文部科学省博士課程奨学生



*文部科学省奨学金は、かつて文部省奨学金と呼ばれ、日本の文部科学省 (Monbu-kagaku-shō又はMEXT) により給付される学術奨学金で、日本での研究・生活費等が全額支給されます。

VJUは、二国間の協力のもと新しい大学モデルを採用し、日本の一流大学との協力をベースに、ベトナムのニーズとコンテキストに合わせて設立された大学です。VJUは、財政的な自立とリソースの管理を自主的に行い、ベトナム人の学生だけでなく世界中の学生を対象とした国際大学になることを目指しています。世界的な発展の動向に沿って、（サステナビリティサイエンスのもと）社会科学と自然科学を統合した学際的なプログラムの開発に焦点を当てています。

質の高い人的資源を提供する他に、VJUは特定の発展段階において直面する問題に対し、より包括的で先進的かつ革新的な技術的解決策をもたらすため、研究戦略の開発をすすめています。

研究は、ベトナム国家大学ハノイ校、日本の大学、その他著名な大学に所属する優秀な教授陣による直接の監督のもと、VJUの講師及び学生により実施されています。

主要な研究分野

VJUは、大学院生が対象とする研究対象の50%が先端技術や学際科学の分野に特化して研究を行う、研究志向大学になることを目指しています。VJUの研究活動は、サステナビリティサイエンスのもと、大学院プログラムの活動と並行して発展しています。

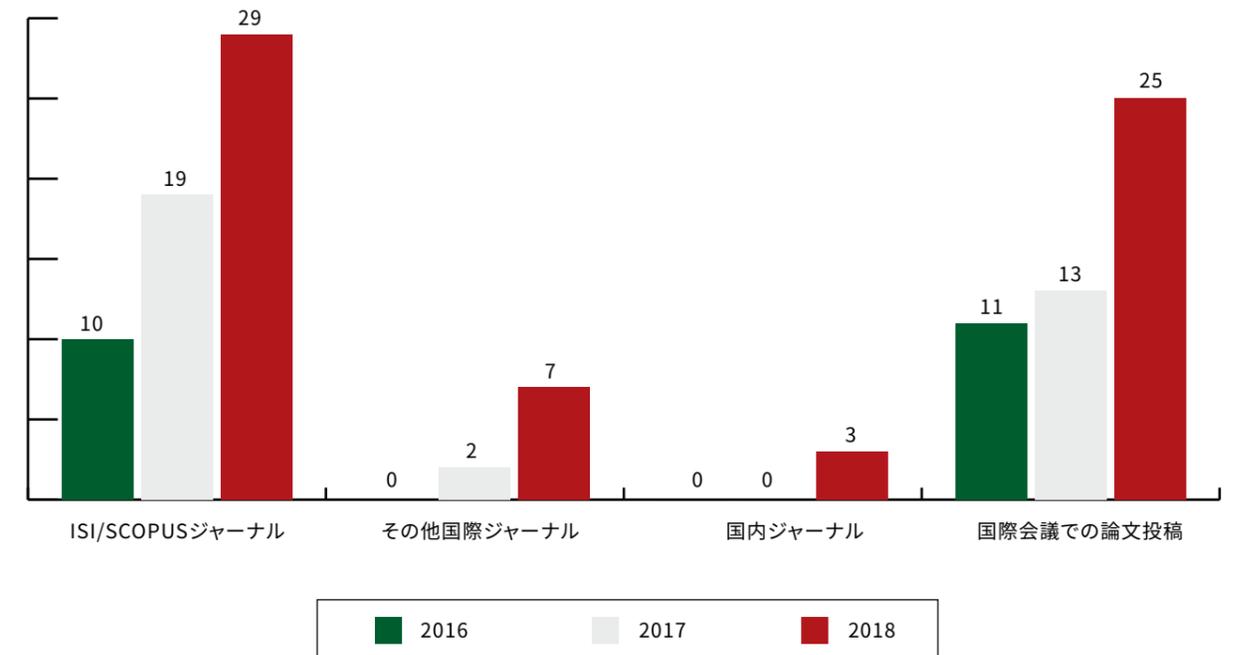
VJUの研究活動分野（一部）

- 複数の分野に亘る問題を解決するために適用可能なナノテクノロジーに関する基礎研究を行います。
- 持続可能な資源の保護と利用、廃棄物の処理とリサイクル、汚染物質のモニタリング、気候変動の緩和と適応のための先進的かつ革新的な技術。
- 現在の持続可能な開発の傾向に合わせたインフラ施設の計画、設計、建設、管理及び保守のための最新技術。
- 社会インフラや持続可能な開発及び国際的な統合の際に生じる問題を解決するための高度なマネジメントスキル。

VJUの研究プロジェクト

プロジェクトの種類	2017年 (件数)	2018年 (件数)	2019 (見込み) (件数)
国家レベル又は同等レベル	0	2	2 (+1)
省レベル	0	3	1 (+1)
大学 (VJU) レベル	4	11	2 (+4)

VJUの論文発表数



VJUは、持続可能な開発に貢献する先端技術と学際科学の分野において、アジアで最も権威のある研究大学になることを目指しています。日本企業だけでなく、ベトナムで研究開発を展開しようとするグローバル企業とも連携できるような地域の研究拠点になることを目標としています。



OPENING GLOBAL OPPORTUNITIES

世界を探求するという若者の夢の実現のため、VJUは学生をバックアップします。VJUはセンター・オブ・エクセレンスとして、21世紀に不可欠なスキルや教養教育を提供し、学生はグローバルな世界の発展に貢献するため、サステナビリティサイエンスに関する専門知識を身につけます。

VJUの学生は世界を体験し、インターナショナルな人間関係を構築し、世界中の多国籍企業で実践経験を積むための多くの機会を得ています。



VJUの学生とフィリピン出身の教授がXuan Thuy国立公園で気候変動について話し合っている様子



フィールドトリップ

フィールドトリップでは、政府や企業が投資をしたプロジェクトなどを訪問したり、企業や組織の幹部と意見交換を行うなど、実際に現地を訪れて学び、実践的な知識を積むことを目的としています。

インターンシップ

2年次に、最大4ヶ月間、日本にある日越大学の幹事大学で学習する機会や日本企業を訪問する機会もあります。これはVJUの最大の強みのひとつであり、ここで得た経験は、多くの卒業生のキャリアパスに影響を与えてきました。



ベトナム語スピーチコンテスト



特別講義

特別講義は、VJUの学生をはじめベトナムの若者に世界の知識と経験を伝え、視野を広げ、イノベティブな思考を発展させ、専門知識・起業家精神を高め、そして多様な文化的価値観に触れる機会を与えます。



茨城大学学長 - 三村信男教授



株式会社島津製作所 代表取締役社長 - 上田輝久氏



内閣府特命担当大臣（当時） - 福井照氏



東京大学工学部長 - 大久保達也教授

サマープログラム

サマープログラムは、海外の学生をVJUに招待し、ベトナムについての知識を広げ、ベトナムを体験するための機会を提供することを目的としています。参加者がベトナムと日本の密接な友好関係について理解してもらうことも重要な目的です。



国際的な教育環境

VJUは、日本の大学から受け継がれた、ユニークで国際的な教育環境があります。VJUでは、ベトナム・日本・世界の科学者が、互いに刺激し合って教育と研究に従事しています。また、様々なバックグラウンドを持つ教員陣は、これからのインテグレーションの時代において学術活動に必要な、多文化環境をつくり出しています。学生は外国語で勉強し、ベトナムと日本だけでなく世界中から来訪する一流の教員と共に研究をすることができます。

急速に変化する世界において、教員、学生、パートナー、支援者に優れたサービスを提供するため、VJUは、優れた異文化管理・支援チームを構築しています。VJUでは、自主性が尊重され、違いが受け入れられる環境があります。



教師の日



文化交流活動



京都を訪問したMNT学生



2018年のインターンシッププログラム。MAS学生と荒汐部屋の力士

日本企業とのマッチング

日越大学は、日本のビジネスパートナーと広範囲なネットワークを構築しています。このネットワークは今も拡大しています。VJUはインターンシップや実践経験が得られる機会、学術交流プログラムなどを提供できるように常に努めています。



VJUの2018年のインターンシッププログラムにおける東京でのキャリアセッション

日越大学の学生が日本の大手航空会社であるANAホールディングス株式会社の「ANAグローバルインターンシップ」に参加しました。VJUの4人の学生は、このインターンシッププログラムへ参加した最初のベトナム人学生です。



ANAグローバルインターンシッププログラムに参加した4名の学生（左から右へ）

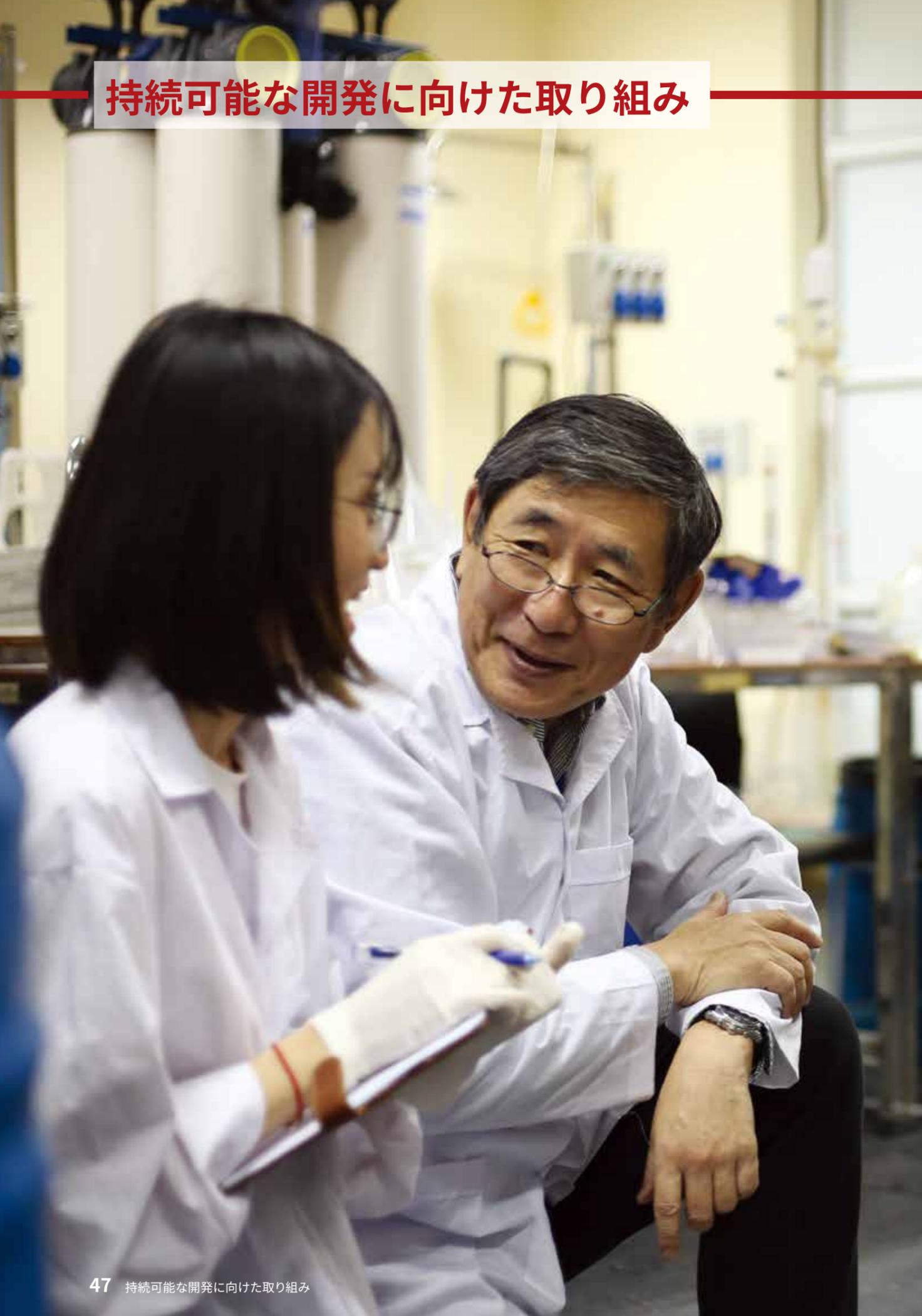
2019年に開催されたVJUの学生を対象としたジョブフェアでは、日本企業による会社説明や採用情報の紹介、採用担当者との面接などが実施されました。



Job Fair 2019

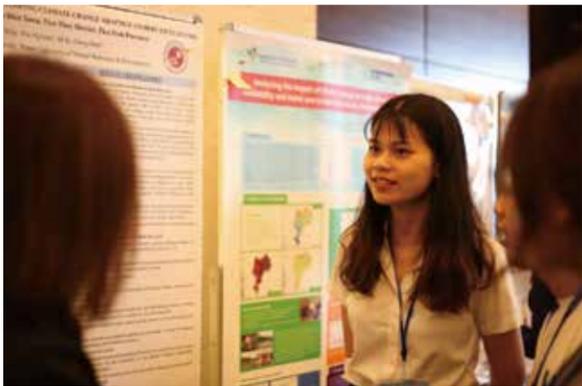


Job Fair 2019



VJUは、ベトナムや日本だけでなく、世界各国から学生を受け入れる国際大学になるため、リベラルアーツとサステナビリティサイエンスという二つの核となる教育理念があります。

リベラルアーツ：VJUでは、学生は幅広い知識だけでなく、学際的なアプローチのための創造的かつ批判的な考え方、ソフトスキルと環境への適応能力を持つように教育され、道徳的・文化的価値観を育み、ビジョンを持った若者を育成します。学生が多分野を包括した広い知識を身に付け、様々な道で秀でた人材に成長できるよう育てることに注力しています。



サステナビリティサイエンス：VJUのすべての研究プログラムは、サステナビリティサイエンスという科学、工学、テクノロジーなど関連する分野を総称した学問で、持続可能な開発への貢献を目的としています。VJUの研究プログラムは大学院レベルの教育プログラムと連携しています。VJUの研究活動は、学際科学と先進技術・テクノロジーが主なテーマになります。

国連による持続可能な開発目標（SDGs）の採択から1年後の2016年9月において、VJUはベトナムにおける新しいモデル大学として、サステナビリティサイエンスを含む修士課程プログラムを開始しました。VJUは、教育と研究活動を通じてSDGsに貢献することを目指しています。修士課程プログラムは学際的な内容となり、アジアの持続可能な開発に貢献するリーダーを育成するための実践的な学びを提供しています。

SDGsとVJU：

番号	SDGs	VJUでの関連教育・研究プログラム
1	貧困をなくそう	公共政策、経営管理、地域研究、先進技術及びサステナビリティサイエンス、持続可能な農業
2	飢餓をゼロに	公共政策、持続可能な農業、グローバルリーダーシップ、先進技術及びサステナビリティサイエンス、持続可能な農業
3	すべての人に健康と福祉を	公共政策、社会福祉とスマートエイジング、グローバルリーダーシップ、先進技術及びサステナビリティサイエンス、持続可能な農業、QOL工学
4	質の高い教育をみんなに	公共政策、グローバルリーダーシップ
5	ジェンダー平等を実現しよう	公共政策、地域研究
6	安全な水とトイレを世界中に	公共政策、環境工学、ナノテクノロジー、社会基盤、先進技術及びサステナビリティサイエンス、気候変動の対応・緩和
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	公共政策、最先端工学、環境工学、先進技術及びサステナビリティサイエンス
8	働きがいも経済成長も	公共政策、経営管理、グローバル研究、地域研究、先進技術及びサステナビリティサイエンス
9	産業と技術革新の基盤を作ろう	公共政策、経営学、社会基盤、気候変動・開発、技術管理、最先端工学
10	人や国の不平等をなくそう	公共政策、地域研究
11	住み続けられるまちづくりを	地域研究、気候変動と開発、公共政策、社会基盤
12	つくる責任 つかう責任	公共政策、経営学、グローバルリーダーシップ、先進技術及びサステナビリティサイエンス、最先端工学
13	気候変動に具体的な対策を	気候変動・開発、公共政策、グローバルリーダーシップ、社会基盤
14	海の豊かさを守ろう	持続可能な農業、ナノテクノロジー、最先端工学、公共政策
15	陸の豊かさを守ろう	持続可能な農業、ナノテクノロジー、環境工学、公共政策
16	平和と公正をすべての人に	グローバルリーダーシップ、公共政策、地域研究
17	パートナーシップで目標を達成しよう	グローバルリーダーシップ、経営管理、公共政策、地域研究

主要な協力機関

独立行政法人国際協力機構（JICA）



2015年2月13日、ベトナム国家大学ハノイ校とJICAは2015～2020年の期間で、日越大学修士課程設立プロジェクトの実施にかかる協力合意書（R/D）を締結しました。R/Dには、修士課程プログラムの設置に対するJICAの支援、日越大学教職員への専門知識の移転・実務研修、VJUで講義をする日本人教員の派遣等、多くの支援内容が含まれています。

また、国際連携は、VJUの発展にとって不可欠なものです。VJUは、教育・学習・研究の活動を強化するために、日本をはじめ海外における著名な大学、組織及び研究機関とネットワークを構築し協力してきました。

現在、VJUは多数のプログラム幹事大学とパートナー大学と連携しています。VJUのプログラム幹事大学は、VJU修士課程プログラムをVJUと共同で開発し運営している日本の大学です。VJUのパートナー大学は、教育活動だけでなく研究開発の推進や学術交流においてVJUと協力しています。

1. 連携大学

ベトナム国内のパートナー大学

タイ・グエン大学	グエン・タット・タン大学	トゥー・ザウ・モット大学
----------	--------------	--------------

海外のパートナー大学

大阪大学	拓殖大学	桜美林大学
立命館大学（理工学研究科）	横浜国立大学（国際社会科学研究院）	東洋大学
東京大学（教養学部）	長崎大学	関西学院大学（理工学部）
法政大学	マレーシア工科大学（マレーシア日本国際工科院）	立命館大学（MNT及び生命科学研究所）
早稲田大学	金沢大学	茨城大学



MOU between Vietnam Japan University and Thu Dau Mot University



MOU between Vietnam Japan University and Ibaraki University

2. 幹事大学

茨城大学



茨城大学は1949年に設立され、現在は5つの学部と4つの大学院を持つ国立大学です。

茨城大学は「知識」の創造、蓄積、体系化及び移転を常に心がけています。同大学は多様な教育プログラムを提供し、高度な研究を推進し、世界平和、人類の幸福、自然との共生に貢献しています。また、社会の変化に対応できるように改革を続けています。同大学で勉強している学生は約8,400人います。茨城大学は、国際的な連帯に貢献するため、15カ国39の大学及び機関と提携して国際的な学術交流プログラムを実施しています。

大阪大学



大阪大学は1931年に設立されました。大阪大学は日本の製造業の中心地である大阪市に位置しており、三菱、パナソニック、シャープ、ダイハツ等の日本の大手企業だけでなく中小企業も多く拠点を置いています。

大阪大学は現在、日本の優良大学トップ5に、世界の大学トップ75に入っており、基礎科学技術、及び健康においてアジアでも有数の教育機関です。同大学はVJUのナノテクノロジー修士課程プログラムの幹事大学です。

立命館大学



教育及び研究において日本の私立大学トップ3に入る大学です。立命館大学では、法学、社会学、政策科学、薬学等の分野において、高度な研究コースを幅広く提供しています。また日本で最大の留学生団体の一つを有し、留学生に多数の学習機会を提供しています。立命館大学の国際交流プログラムは日本でトップクラスです。更に、立命館アジア太平洋大学は、2000年に国際教育機関として設立されました。立命館大学は、VJUの環境工学修士課程プログラムの幹事大学です。

東京大学



日本で最も権威のある大学の1つです。この大学は、6名の総理大臣及びノーベル賞受賞者など、多くの著名な科学者、学者、政治家、及びビジネスマンを輩出してきました。東京大学には、2,800名の教授、准教授及び講師が在籍し、研究の目的で毎年外国から約4,000名の研究員が訪れています。2005年に学生約3万人が在籍しており、その内2,600人が留学生でした。東京大学は、日越大学の社会基盤修士課程、環境工学修士課程及び地域研究修士課程プログラムのカリキュラム整備・実施、教員の派遣などを実施する幹事大学です。

筑波大学



筑波大学は、日本で著名な大学トップ10に入り、最も歴史のある大学の1つです。自然科学分野で強みを持っています。日本の他の国立大学と違って、筑波大学は、国際化に向けて設立されているため、外国の学生と教員の比率が高いことも特徴の1つです。同時に、この由緒ある研究機関は、筑波研究学園都市にある国立研究機関や研究開発企業と強固なネットワークを持っています。

筑波大学は現在、日越大学の公共政策修士課程プログラムの幹事大学です。

早稲田大学



早稲田大学は日本とアジアにおいて有名な私立大学の1つです。同大学のメインキャンパスは北新宿にあります。早稲田大学の政治経済学部は日本の社会に大きな影響を与えており、戦後6名の総理大臣を輩出しました。早稲田大学はUniversitas 21のメンバーになっています。同大学は、一般の人々への教育と善良な市民性の育成のため設立されました。早稲田大学は日越大学の日本語教育のカリキュラム作成、コース運営、教員の派遣などを支援している幹事大学です。2019年以降、早稲田大学は、グローバルリーダーシップという新しい修士課程プログラムの幹事大学として、VJUとの連携をさらに拡大することが期待されています。

横浜国立大学



横浜国立大学は、日本でトップクラスの国立大学の1つであり、国立学校設置法に基づき設立された信頼できるビジネスパートナーです。最初に設置された学部は教養教育学、経済学と工学でした。現在、横浜国立大学は5つの教育学部（教育学部、経済学部、経営学部、理工学部、都市科学部）と5つの大学院（教育学研究科、国際社会科学府・国際社会科学研究院、理工学府・工学研究院、環境情報学府・環境情報研究院、都市イノベーション学府・都市イノベーション研究院）で構成されています。74ヶ国と地域から10,000人以上の留学生を持つ大学へ発展しており、留学生は全体の約9%を占めています。横浜国立大学は、VJUの企業管理修士課程プログラムの幹事大学です。

産学連携

産学連携活動はVJUの主要なイニシアチブの一つです。

VJUはその貴重な研究成果を産業に移転することを通して、社会に貢献することを期待されています。研究成果は、日本企業やベトナム企業に対し、ナノテクノロジー、環境工学、社会基盤分野における問題を考える際に応用することができます。企業が直面している既存の問題に対し、より包括的な解決策とイノベーションをもたらすことができます。

実際の仕事の環境に適用できるよう学生をサポートするため、日本企業をはじめ多くの企業にインターンシップの機会を提供していただいています。日系企業でのインターンシップに参加することで学生は日本文化を理解し、日本の生活や仕事について貴重な体験を得ることができます。また、VJUは企業活動と関連する分野でのカリキュラム内容への提言や支援を歓迎しています。

ビジネス・パートナー

Domestic Partners:

FECON JSC	ベトナム建設科学技術院 (IBST)	タインホア省人民委員会
Consultant and Inspection Joint Stock Company of Construction Technology and Equipment (CONINCO.,JSC)	交通科学技術研究所 (ITST)	外務省外務局 (省レベル)
Lam Son Sugar Cane Joint Stock Corporation (LASUCO)	ベトナム・国立技術推進センター (NACENTECH)	

International Partners: ANAホールディングス株式会社



ANA Holdings and Vietnam Japan University comprehensive partnership



MOU between Vietnam Japan University and Consultant & Inspection Joint Stock Company of Construction Technology and Equipment (CONINCO., JSC)

寄付・支援企業

寄付

H.I.S Song Han Vietnam Tourist Co., Ltd.	Mitsui Sumitomo Insurance Co., Ltd.	Nippon Steel & Sumitomo Metal Vietnam Co., Ltd.
Yuko Vietnam Co., Ltd.	Yoshinoya Holdings Co., Ltd.	Tokyo Ebara Lions Club
Kokuyo Vietnam Trading Co., Ltd.	Sekisho Scholarship Foundation	Fuji Xerox Viet Nam Company Limited
Worlding Inc.	Intage Vietnam LLC.	Kansai Metal Co., Ltd.
Ms. Sumiko Katsumi, Attorney at Law in Japan	Organo Corporation	Yamamoto Metal Technos Co., Ltd.
Kurihara Vietnam Co., Ltd.	Fujino Kinzoku Co., Ltd.	Nissaku Co., Ltd.
Art Tango Confectionary Co., Ltd.	Mr. Keiji Takehara	Former National Diet Members of LDP

支援企業:

Shimadzu Corporation | FANCL Corporation | Fujita Corporation | Yamato Global Logistics Japan Co., Ltd.

キャンパス

ミーディン・キャンパス (現キャンパス)

- ベトナム国家大学ハノイ校は、ハノイ市内に4つのキャンパスを保有。教員約2千人、学生約4万人、7つの大学、3つの研究所等から構成されています。
- 2016年9月、日越大学のミーディン・キャンパスがベトナム国家大学ハノイ校近隣にて開学。遠隔講義やテレビ会議用設備が整った教室、図書館、教職員や学生のための交流スペース等を整備。



ホアラク・ハイテクパーク及びホアラク (新キャンパス)

- ホアラク・ハイテクパークはハノイ中心部から約30kmのホアラク地区にて整備中の科学技術拠点都市。広さは約1千ha。
- ズン前首相の要請を受け、日本が同パーク内の基礎インフラ（道路、上下水道、配電等）整備を円借款にて支援中。
- サン前国家主席が、同パーク及び隣接地（ベトナム国家大学ハノイ校移転用地）の一部を日越大学建設用地として指定。
- ハイテク工業団地の他、FPT大学や科学技術大学をはじめとする研究開発・教育訓練施設を建設。
- 産学官のハイレベルな連携を実現する、ベトナムを代表する科学技術の一大拠点として開発。

